

琉球大学学術リポジトリ

九州大学の新図書館計画について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2011-02-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 古賀, 幸成 （九州大学附属図書館）, Koga, Yukinari メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/18847

九州大学の新図書館計画について

2011 年 2 月 17 日

これからの図書館を考える ～琉球大学附属図書館ワークショップ

九州大学附属図書館利用支援課
古賀幸成

本日の内容

- 九州大学の移転計画

図書館は2館建築(中央図書館、理系図書館)

- 理系図書館(現在は、伊都図書館と呼称)

- 嚶鳴(おうめい)天空広場Q-Commons

- ラーニングコモンズ(きゅうとコモンズ)

- その他

九州大学統合移転スケジュール

新キャンパスに二つの図書館建築

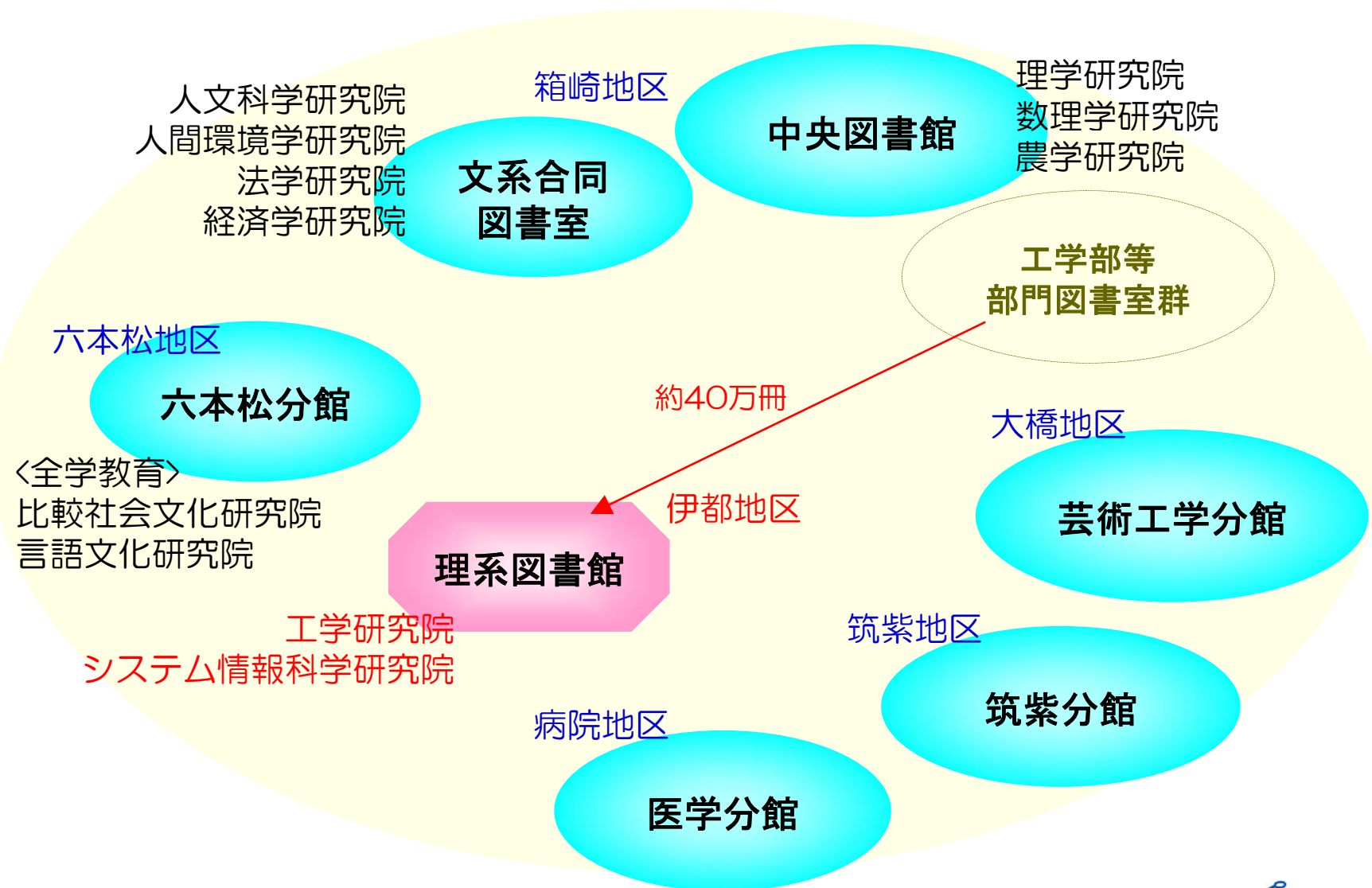
- ・中央図書館(文系)
- ・理系図書館(伊都)

時 期	第Ⅰステージ 平成17年度～19年度	第Ⅱステージ 平成20年度～23年度	第Ⅲステージ 平成24年度～31年度
伊都キャンパスへの移転 【伊都キャンパス人口】	工学系Ⅰ,Ⅱ 理系図書館 【約5.2千人】	全学教育, 比較社会文化, 言語文化, 数理学研究院, 理学部数学科, 伊都図書館, 高等教育開発推進センター他 【約10.8千人】	理学系(H26) 情報基盤研究開発センター(H27) 中央図書館(H29) 文系(H29, H30) 農学系・その他(H31) 【約18.7千人】
<用地再取得 平成25年度完了> →			

新図書館の配置

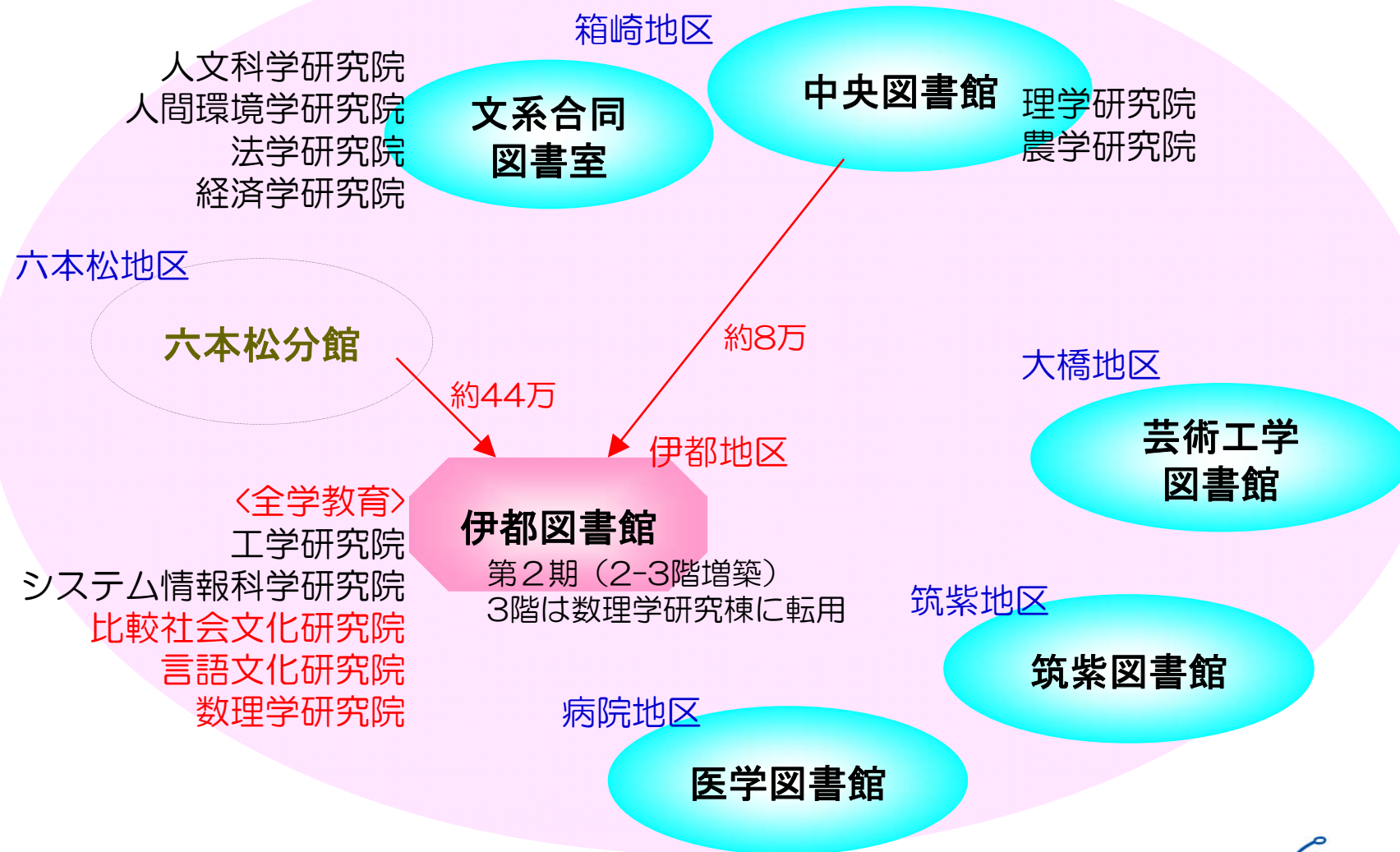


平成17-18年(移転第Ⅰステージ)

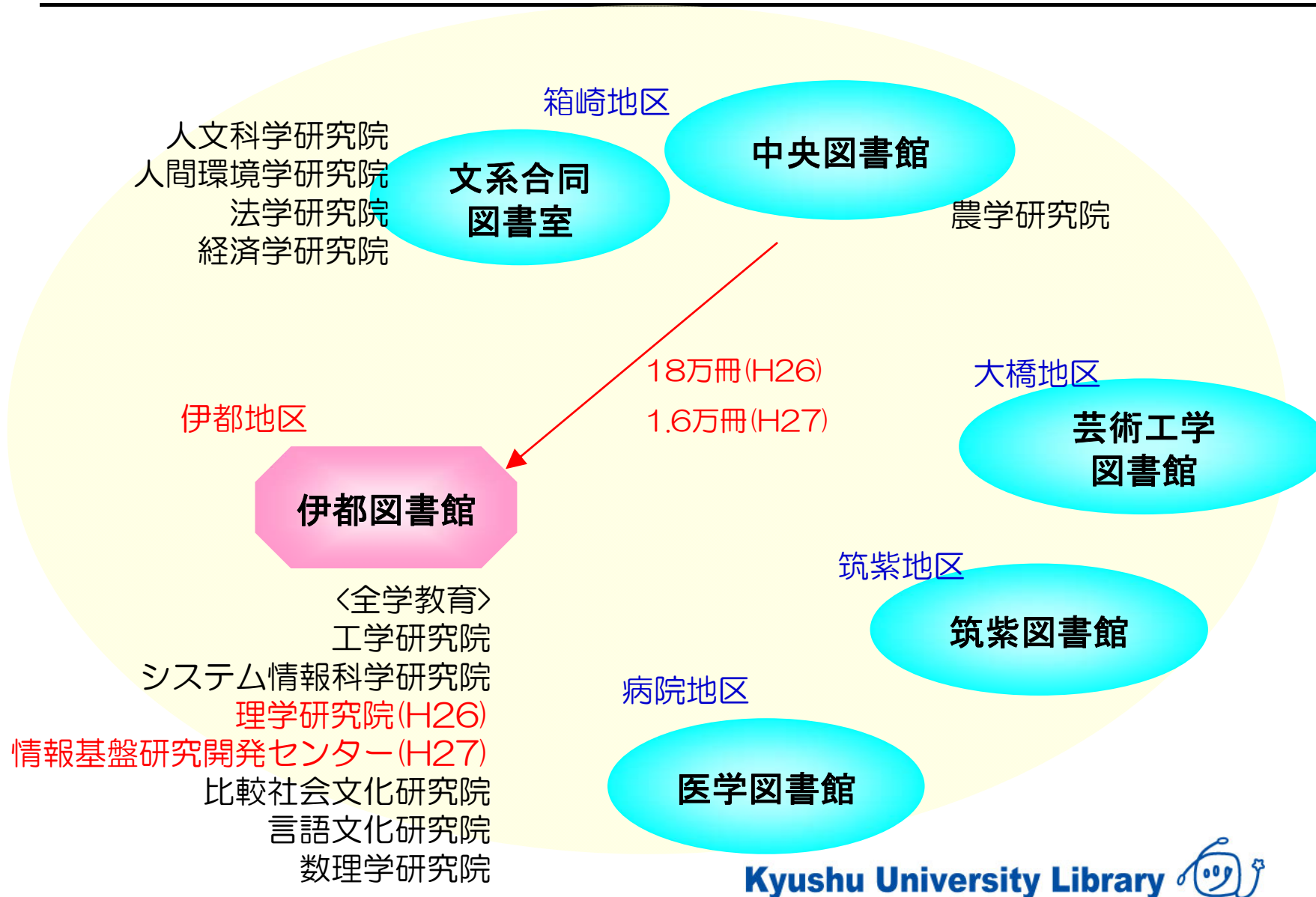


現在

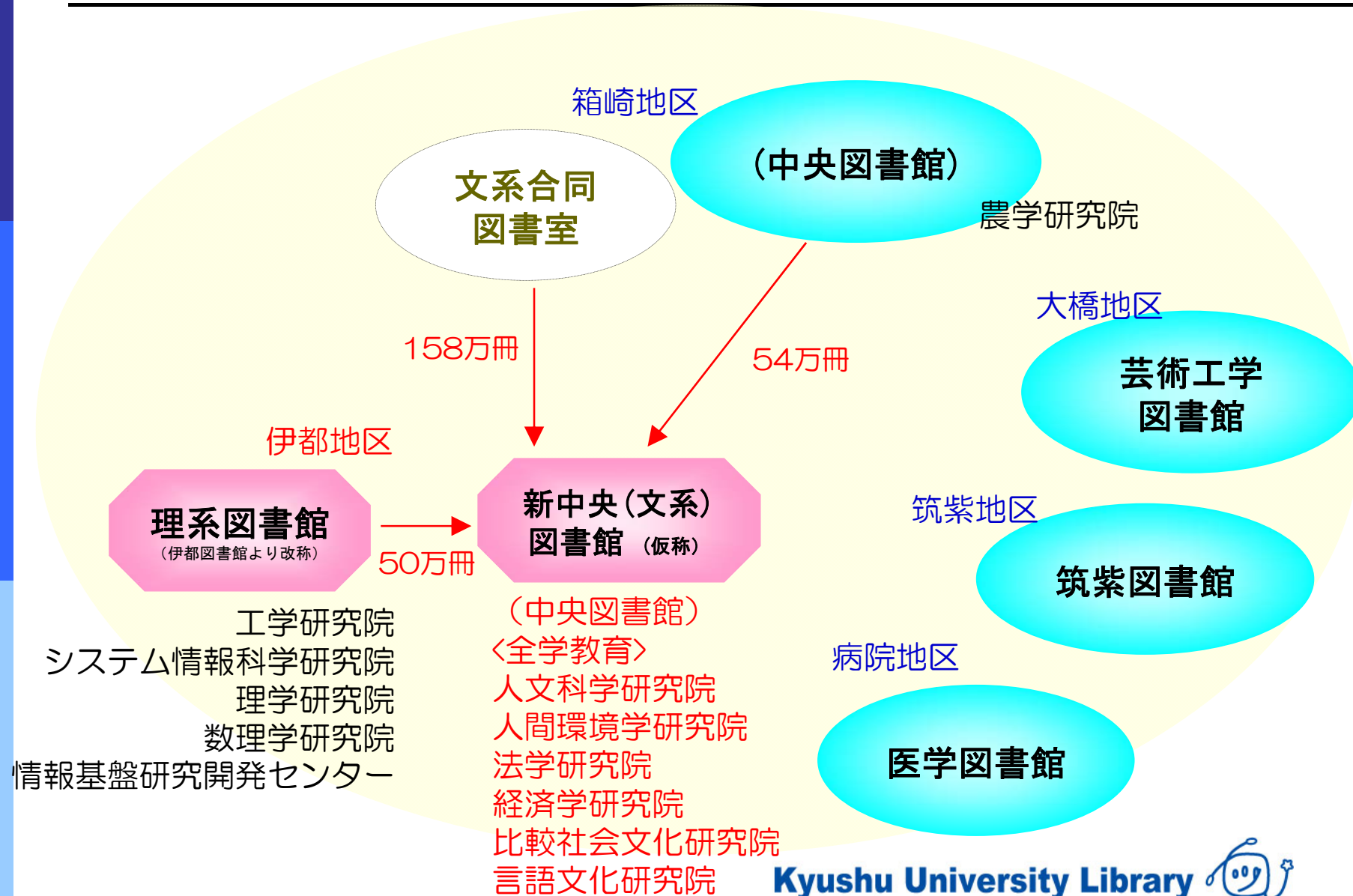
平成21年4-10月（移転第Ⅱステージ）



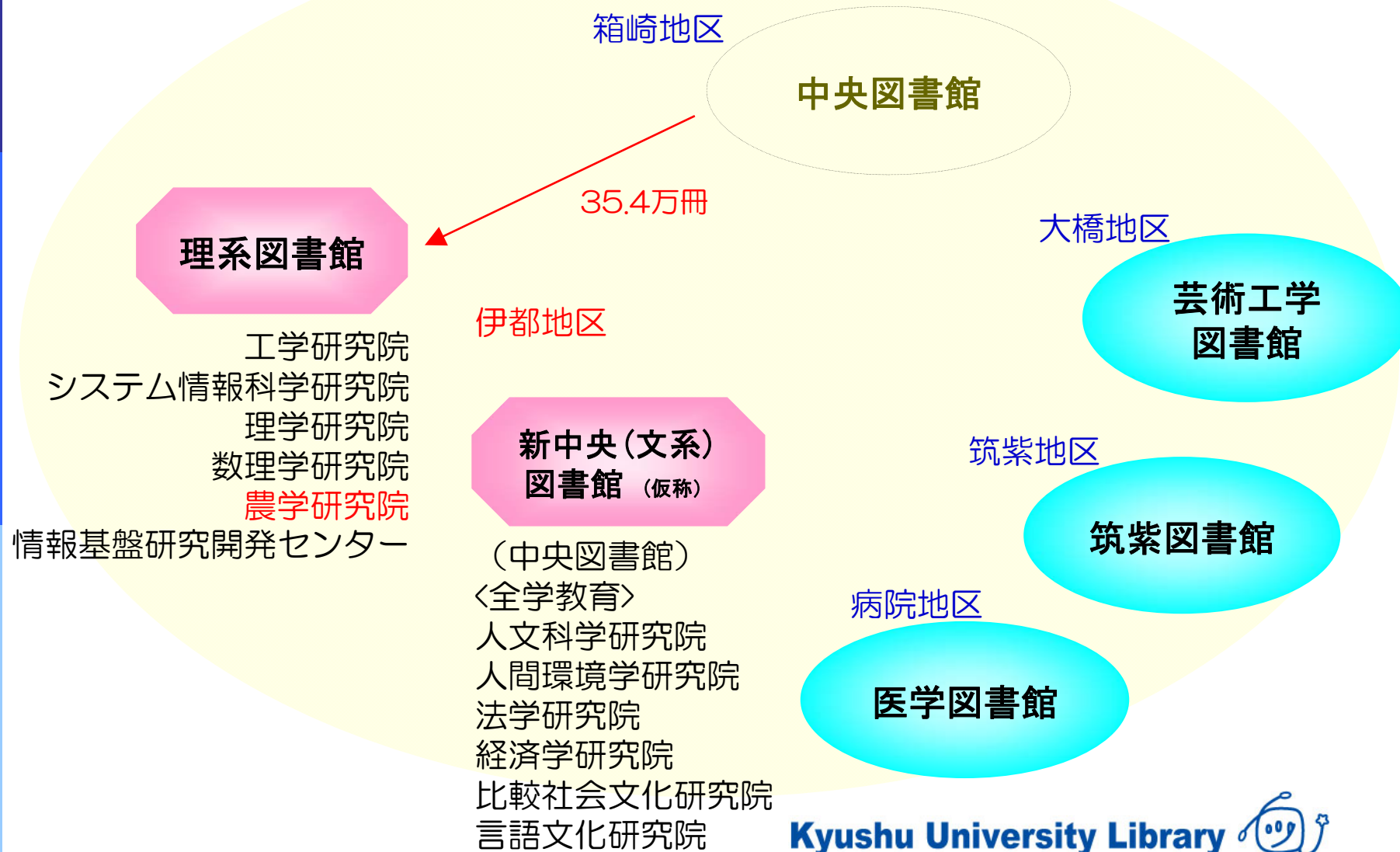
平成26年度(予定) (移転第Ⅲステージ開始)



平成29-30年度(予定)



平成31年度(予定)



2館の役割・機能

□ 中央(文系)図書館

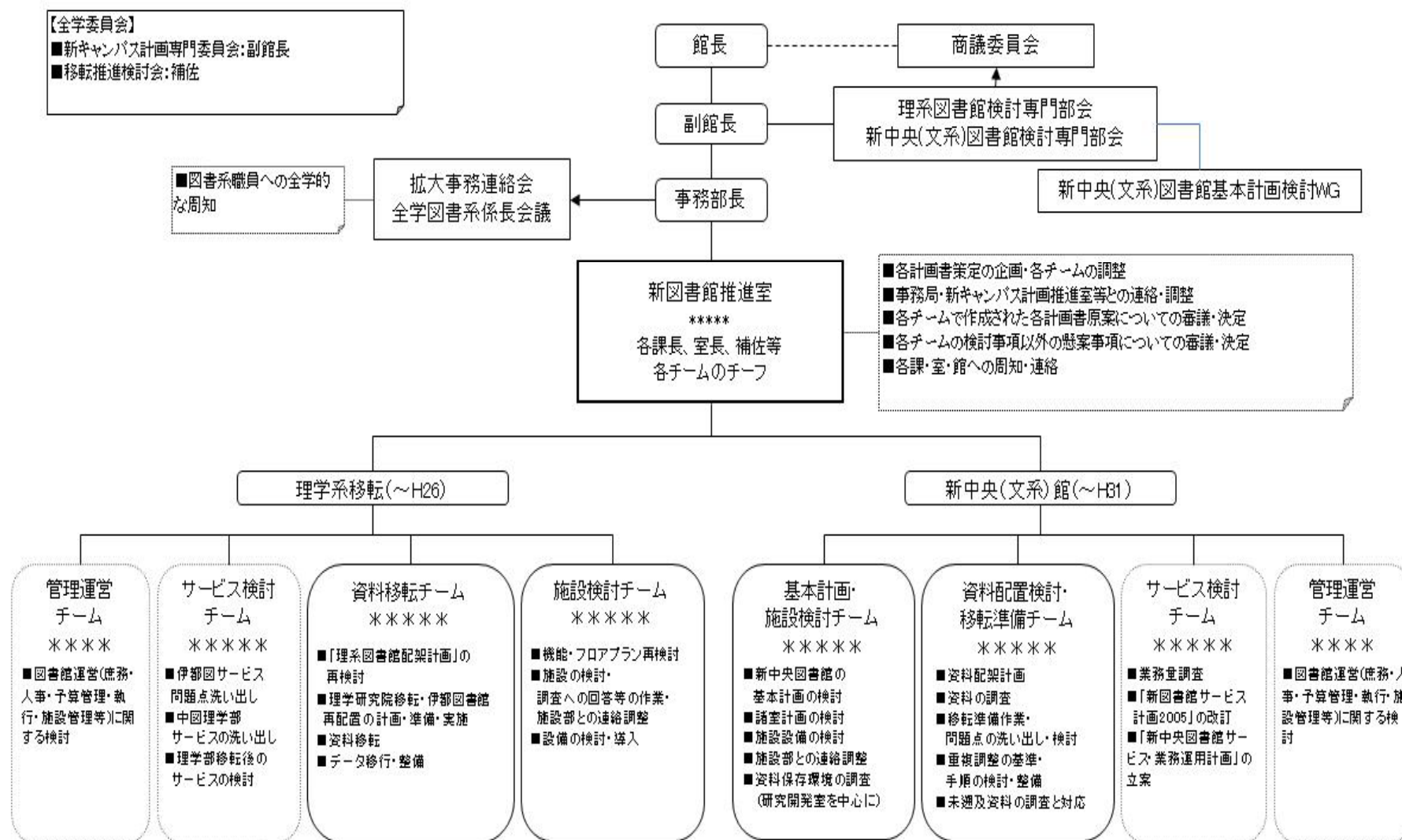
- ・総合図書館
- ・人文・社会科学系図書館
- ・全学教育図書館
- ・研究開発機能の中枢

□ 理系図書館

- ・自然科学系図書館
- ・電子図書館機能の中枢

新図書館推進体制(平成22年度)

第3ステージ



理系図書館 施設・設備の基本コンセプト

- ウェストゾーンのシンボルとしての図書館
- 滞在型図書館
- 多様なニーズへ柔軟に対応する図書館
- 快適かつ環境に配慮した21世紀型図書館
- 分かりやすい（人に易しい）図書館
- 安全な図書館—セキュリティの確保
- 将来の拡張性への対応

ウェストゾーンのシンボルとして、印象的な建物とする。

快適なアメニティ空間を目指し、学習、調査・研究、読書などのために、長時間滞在したくなるような空間を創出する。

利用者のさまざまな研究・学習スタイルに応じて選択できるよう、閲覧室・グループ学習室・研究個室など多様なスペースの提供を行うとともに、社会の変化に柔軟に対応できる施設の整備を図る。

理系図書館 空間構成図

3F

有機的な
落ち着いた空間

閲覧席

農学・人文社会系資料

2F

エネルギーを感じる
先端的な

閲覧席

理・工学系資料

1F

先端的な。フットワーク
変化し続ける

研究個室

閲覧席

雑誌・基礎科学資料

静

BF

「個」重視
地味だが居心地よい空間

閲覧席

静

情報サロン
グループ学習室

ブラウジングスペース
国際交流スペース
AVスペース
グループ学習室

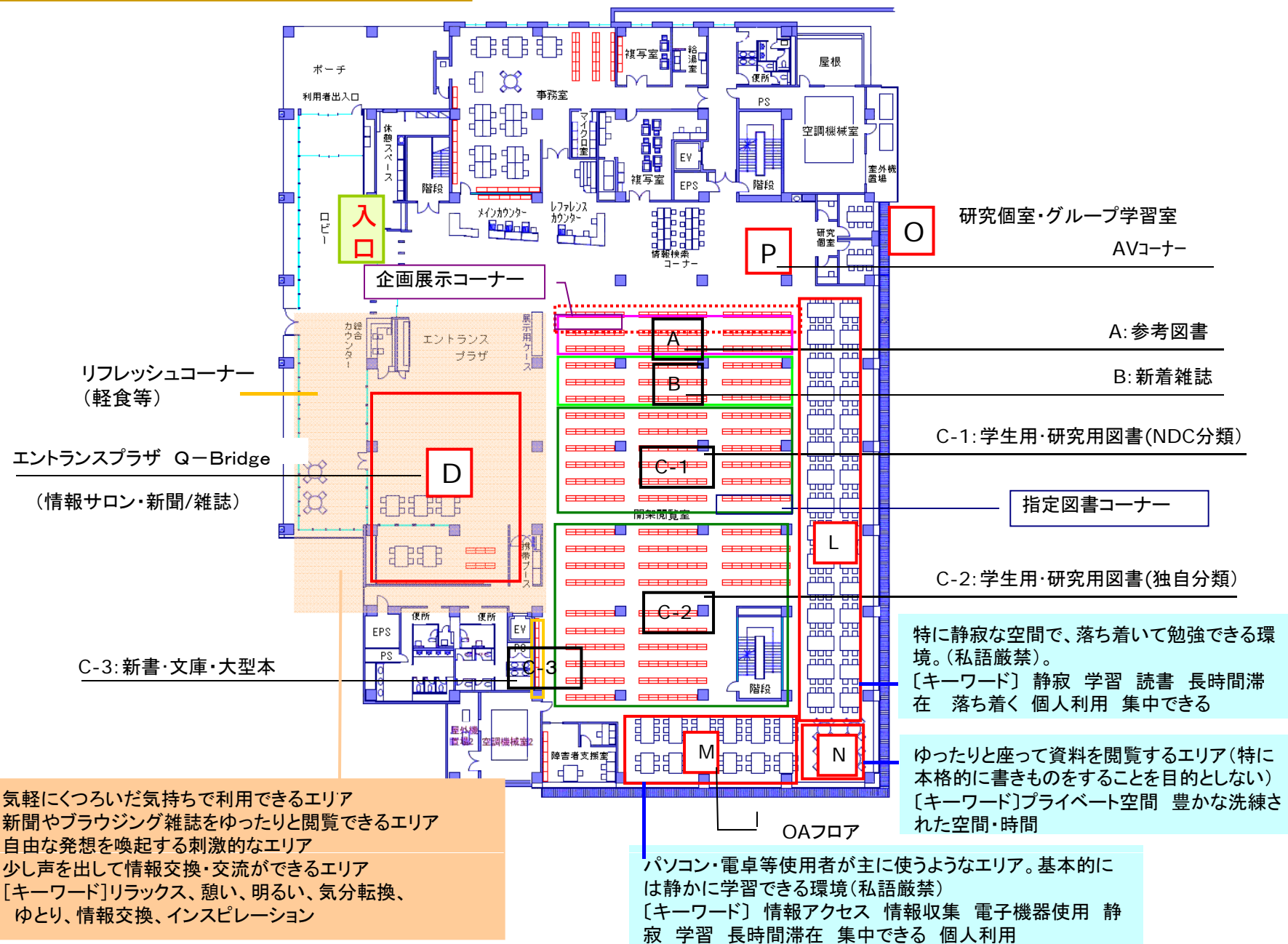
活気のある交流の場
インスピレーションを感じる場
開放的な楽しい空間

エントランス
プラザ

入口

動

理系図書館 1 階平面構成図



Dエリア エントランスプラザ Q-Bridge

- ・情報提供の場として
- ・交流の場として
- ・展示スペースとして
- ・人と人、人と情報をつなぐ場としての役割
- ・ふらりと立ち寄れる入りやすく快適な空間

あつめる

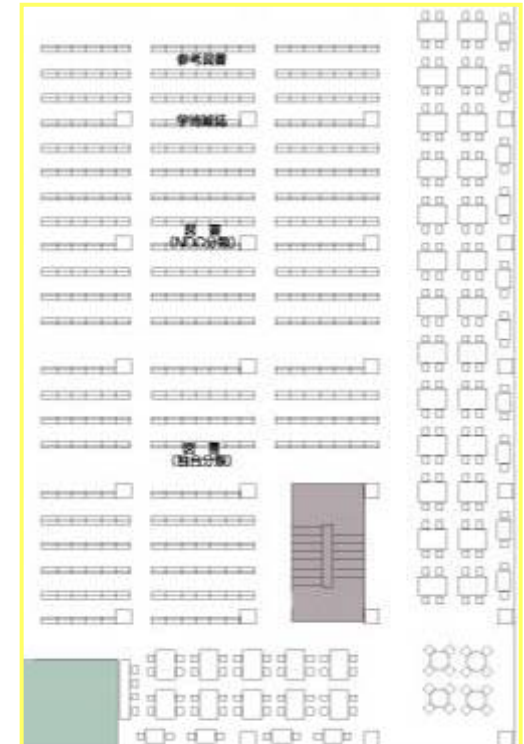
つなぐ

ひろがる



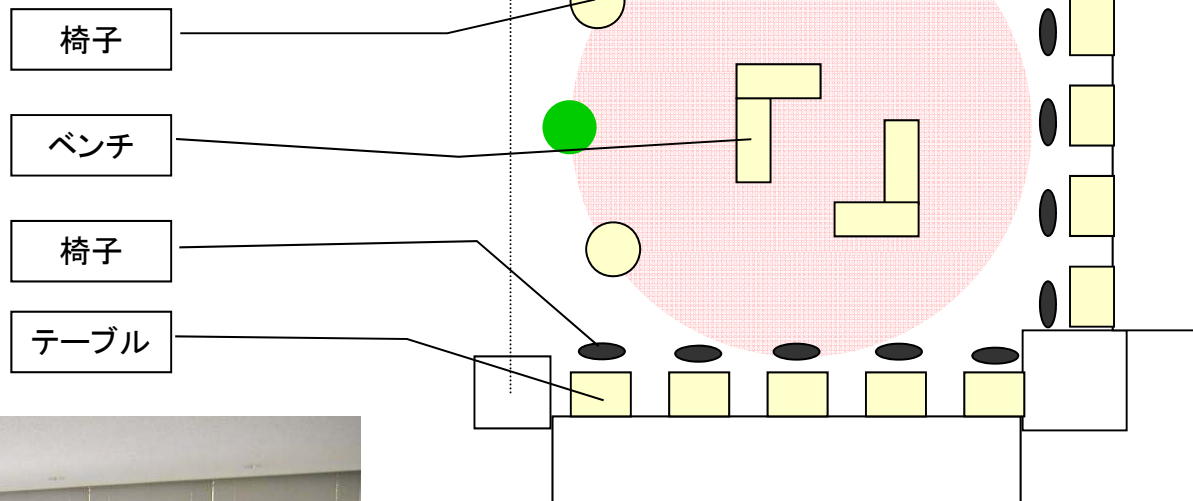
Ｌエリア 1階閲覧席

- ・静寂な空間
- ・圧迫感のないすっきりしたデザイン
- ・シャープだが冷たくはない、落ち着く空間



Nエリア（東南角閲覧席）

- ・パーソナルな静かな空間
- ・上質の家具から生まれる豊かな空間と時間
- ・洗練された柔らかな空間



Oエリア 研究個室・グループ研究室

【研究個室】

- ・ひとりで長時間集中して学習できる空間
- ・機能的な空間
- ・閉鎖的な空間であるため、圧迫感のない家具

【グループ研究室】

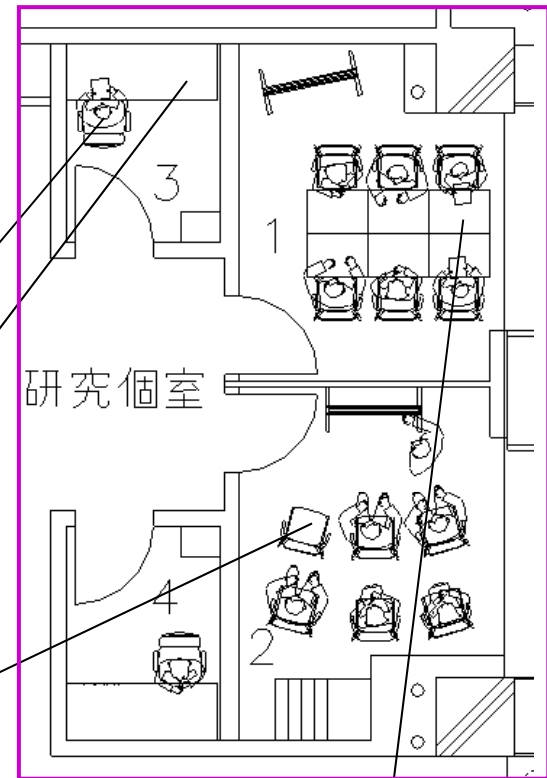
- ・数人でゼミや研究会、グループ学習
- ・学習のさまざまな形態に対応するため、動かしやすい家具
- ・意見が出やすい雰囲気

椅子

テーブル

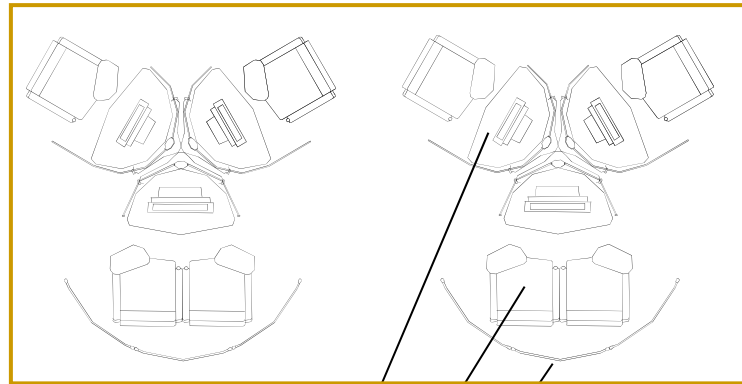
椅子

テーブル



Pエリア AVコーナー

- ・プライベートかつ圧迫感のない空間
- ・開架書架、検索コーナーと連なるデザイン的な統一感
- ・ゆったり落ち着ける椅子



AV閲覧テーブル

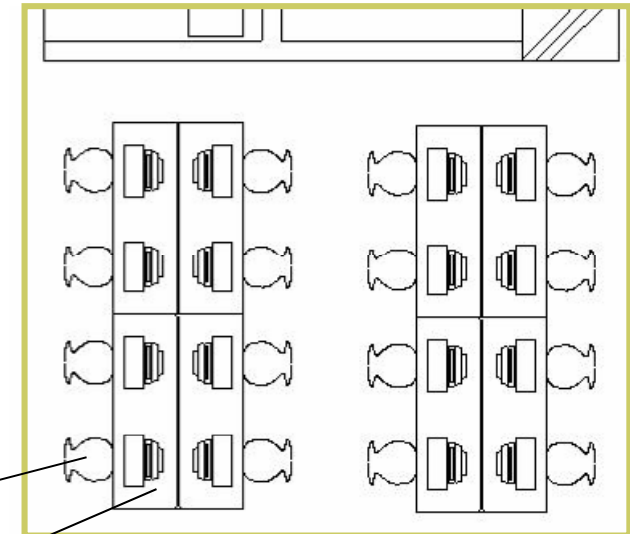
椅子

スクリーン



検索コーナー

- ・エントランスより見通せる場所であるため、開放的な空間
- ・開架書架、AVコーナーと連なるデザイン的な統一感
- ・奥行きのあるテーブルと疲れにくい椅子



椅子

テーブル



嚶鳴(おうめい)天空広場Q-Commons

□コンセプト

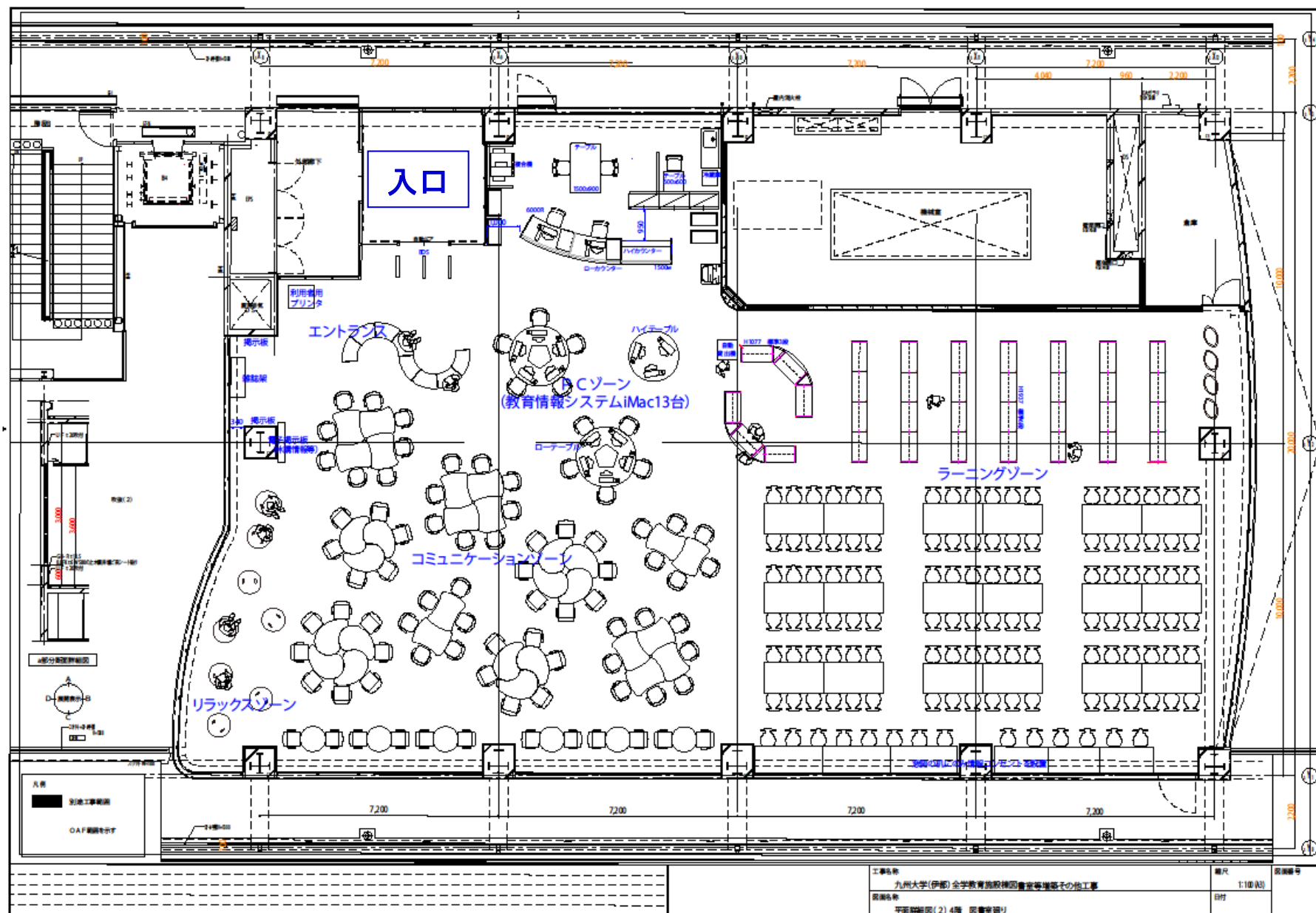
全学教育の学生を対象とした、学習のためのスペース

- ・学ぶ場所、集う場所、空き時間を過ごす場所の提供
- ・最低限の図書館機能

□機能

- ・交流と情報収集 ・学習 ・休憩
- ・基本的な閲覧サービス
- ・全学教育機能(電子掲示板による休講情報等)

Q-Commonsのレイアウト





ラーニングコモンズについて

- 中央図書館参考図書閲覧室をリニューアルし設置

名称: きゅうとコモンズ

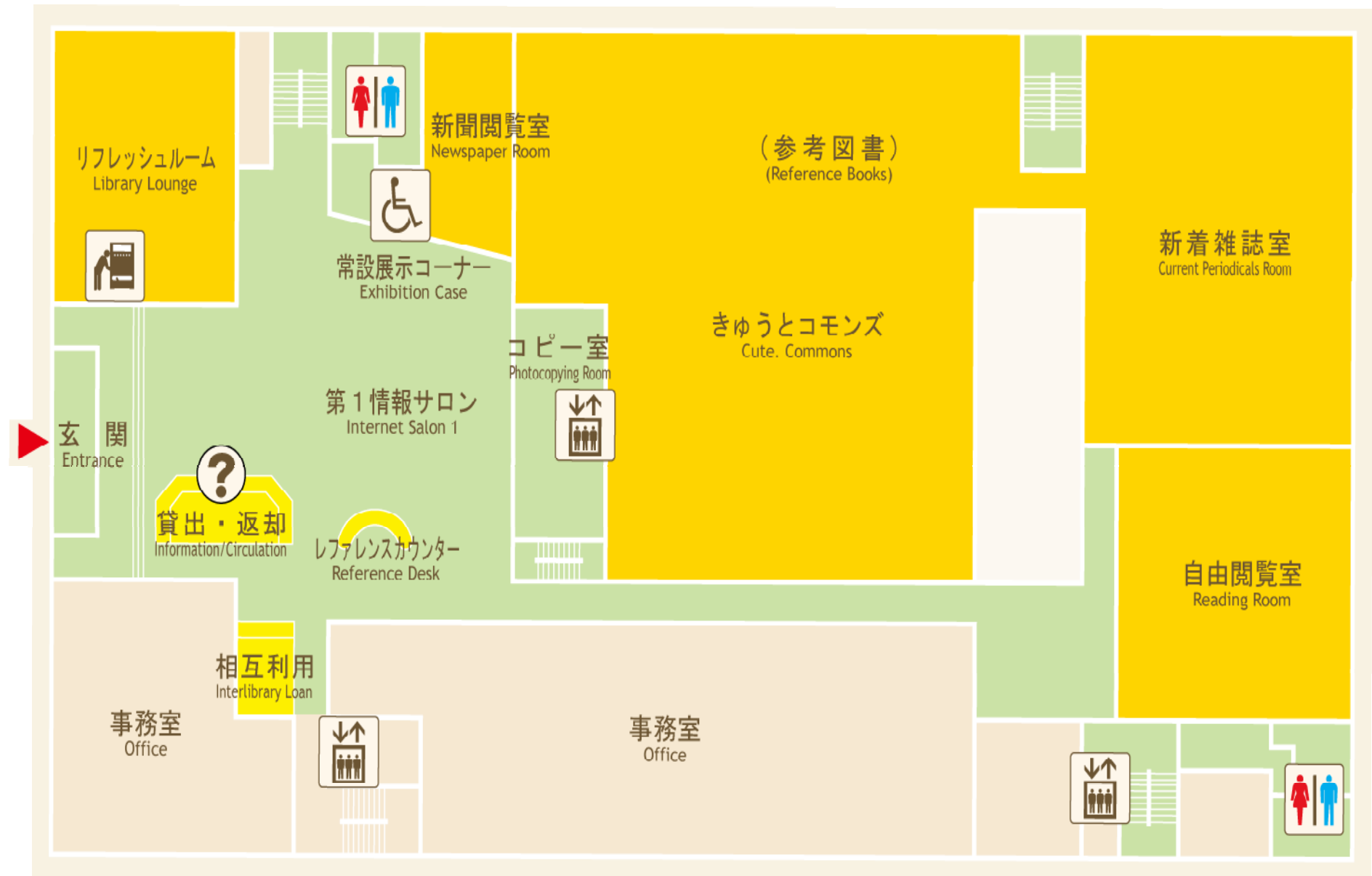
- コンセプト

- ・会話OKエリア
- ・グループディスカッションに
- ・多様な利用形態に対応できる可動性
- ・備え付けPC、無線LAN対応
- ・授業活用、イベント

- 設備

- ・テーブル(リボン型) 40台
- ・椅子 92脚
- ・ホワイトボード 17台
- ・PC 10台

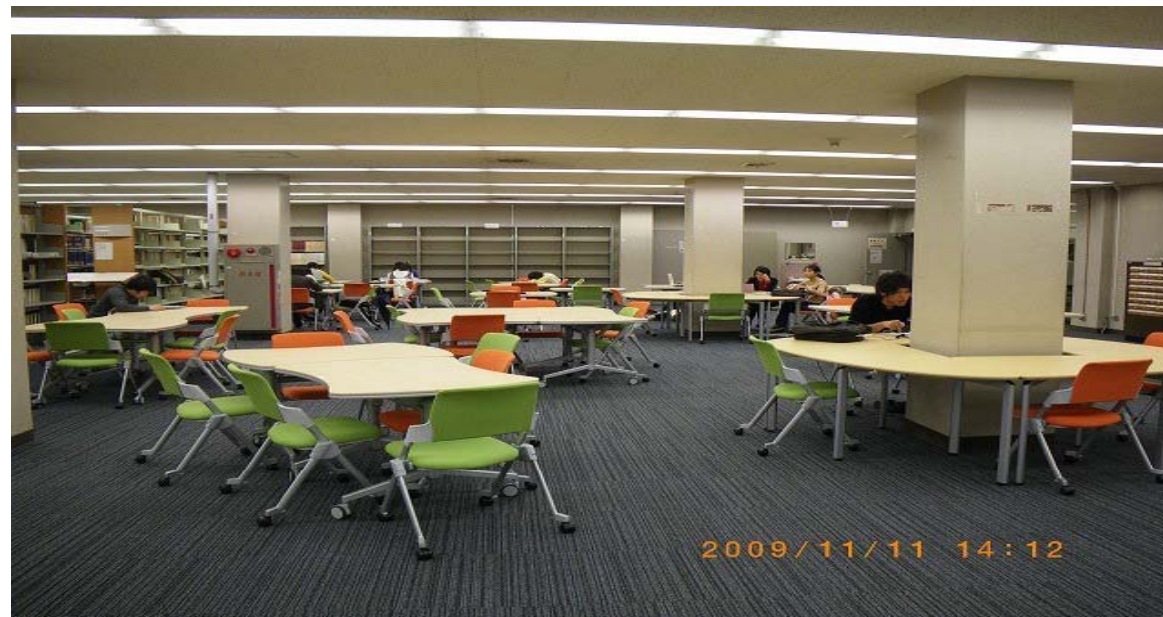
中央図書館2階平面図



授業利用



座談会



きゅうとコモンズ アンケートの実施結果

□「話せる」スペースの賛否は、二分される結果に

- ・うるさい → 一人で勉強する利用者
- ・静かすぎる → 周囲が静かで話せる雰囲気ではない



□今後の対応

- ・静かな学習スペースとの「すみわけ」
- ・グループ学習、ディスカッション、授業利用等を増やし、会話型学習空間の雰囲気づくりが急務

Thank you !

